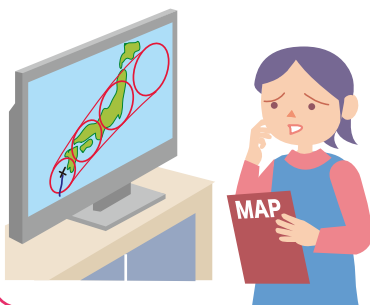


安全に避難するために

避難の時の心得

避難所までの経路は、災害により危険な場所となる可能性があります。落ち着いて行動するためにも、普段から家族や隣近所で自宅から避難所までの避難経路をよく話し合っておきましょう。

正確な情報と自主的避難を



ラジオ・テレビで最新の気象情報などに注意しましょう。雨の降り方などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

安全な道を通りましょう



避難するときには、側溝や水路に十分注意しましょう。また、長い棒などを杖代わりにして、安全を確認しながら歩きましょう。

動きやすい格好、2人以上での避難



動きやすい格好で避難しましょう。ひもで結ぶ運動靴が良いでしょう。2人以上での避難を心がけましょう。

みんなで助け合って避難を



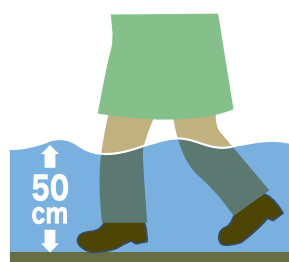
避難するときには、隣近所で声をかけ合い、お年寄りや要援護者の方、子どもを優先するようみなさんと協力しましょう。

速やかに避難しましょう



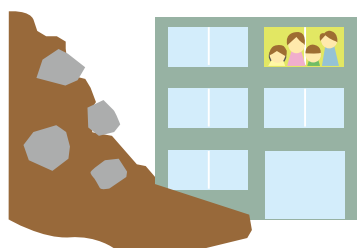
避難勧告などは、危険が迫った時に出されますので、速やかに避難しましょう。避難の際には、市などの指示に従いましょう。交通渋滞を招くので、できるだけ徒歩で避難しましょう。

水深や流れに注意しましょう



大人が歩ける深さは、約50cmが目安です。水の流れが速いときは、50cm以下でも歩行するのは危険です。

万が一のとき



避難所へ逃げ遅れた場合には無理をせず頑丈な建物で2階以上の斜面とは反対側の部屋に逃げましょう。

万が一のとき



浸水が速く、逃げ遅れたときは、無理をせず、近くの頑丈な高い建物に逃げましょう。